

# 「野の花の丘便り」8月中旬

## 花の命は短くて

8月も中旬となると野の花の丘も随分と寂しくなってきました。エゾクガイソウ、オカトラノオ、トモエソウは早々に花は店じまい、せっせと実をつけています。

ヤナギラン、クサレダマ、ノコギリソウは花から実へと移行中、ツリガネニンジン、ヤマハハコ、カワミドリは花と実が混在しています。

オミナエシ、エゾミソハギは花のピークとなっていますが、鮮やかだった花の色が少しくすんで来ています。

これからはエゾノコンギク、ユウゼンギクなど秋の花の出番です。招かれざる客のセイタカアワダチソウも。

花の盛りは2~3週間でしょうか、「花の命は短くて」なんて言いますが、人の思いとは関係なしに花たちは「ほっといてくれ、余計なお世話だ」と言わんばかりに自分のペースで成長し、花を咲かせ、実をつけているようです。

早々と実をつけて  
エゾクガイソウ

花から実へと  
クサレダマ

今が花のピーク  
エゾミソハギ

